# ＪＡ足利　営農情報　４月号

## １．麦類の栽培について

11 月下旬から３月上旬までの平均気温は平年に比べてやや高く、降水量はかなり少なく推移しました。11 月 20 日に播種されたビール大麦の茎立期は３月６日（平年：３月７日）と平年並となりました。気象庁季節予報（2 月 24 日発表）によると、4 月の気温は「高い」確率 60%、降水量は「平年並」確率 40%と予想されています。今後気温が平年より高く推移した場合、出穂期は平年（４月６日）より早まる可能性があります。明きょの点検・補修や赤かび病防除、適期収穫を徹底し、高品質麦の生産に取り組みましょう。

### ① 排水対策

登熟期の湿害は根の活性を落とし、粒の充実不足を招きます。

- 圃場の排水溝の溝さらいをしましょう。
- まだ設置していない圃場は、周囲に排水溝を堀りましょう。
- 排水口は排水溝よりも低く掘り下げて、圃場外の排水路につなぎましょう。

### ② 赤かび病防除

赤かび病は出穂期以降に気温が高く、降雨が続くと発生の可能性が高くなります。また、不稔粒発生や登熟期の連続降雨等は発生を助長する恐れがあります。赤かび病が発生すると出荷できなくなるため、必ず薬剤散布を行いましょう。

| 麦種 | 防除適期 | 多発のおそれがある場合<br>（不稔粒発生や登熟期連続降雨など） |
|---|---|---|
| 二条大麦　（もち絹香）<br>（ニューサチホゴールデン） | 穂揃期７～10 日後 | １回目散布の７～10 日後に<br>２回目散布 |
| 小麦 | １回目：開花始め（出穂期の７日後）<br>２回目：１回目散布の 20 日後 | ３回目散布 |

⚠ 不稔の発生を助長する主な気象条件

- 出穂期８～10日前の低温（－１℃～-1.5℃に３～４時間遭遇）
- 出穂期前後の降霜
- 出穂期前後に25℃以上の高温に遭遇

## ２．水稲の栽培について

●未消毒種子を購入した場合は種子伝染性病害防除のため、種子消毒を必ず行いましょう。

【種子消毒薬剤の例】　　2026 年 3 月 12 日時点の登録内容

| 農薬名 | 適用病害虫 | 希釈倍数 | 使用方法 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|
| テクリード C<br>フロアブル | もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、苗立枯病（ﾘｿﾞｰﾌﾟｽ菌）、苗立枯病（ﾄﾘｺﾃﾞﾙﾏ菌） | 200 倍 | 24 時間<br>種子浸漬 | １回 |
| スミチオン乳剤 | イネシンガレセンチュウ | 1,000 倍 | 6～72 時間浸漬 | １回 |

※　農薬はラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を確認して正しく使用して下さい。

【浸種の目安期間】

| 種子 | 浸種温度 | 浸種日数（積算温度） |
|---|---|---|
| 消毒種子 | 10～15℃ | 一般品種（コシヒカリ、とちぎの星、あさひの夢 等）月の光：8～13 日（積算温度 120～130℃）<br>夢あおば：4～8 日（積算温度 60～80℃）<br>※最初の３日程度は水を交換しない。 |
| 未消毒種子 | | 種子消毒実施後、一般品種（コシヒカリ、とちぎの星、あさひの夢 等）、月の光：7～12 日（積算温度 100～120℃）<br>夢あおば：3～7 日（積算温度 40～70℃） |

●播種量

| | 播種量(g/箱) | 箱数(箱/10a) | 育苗日数(日) | 葉齢(枚) | 草丈(cm) |
|---|---|---|---|---|---|
| 稚苗 | 乾籾 130<br>催芽籾 170 | 20～23 | 20 | 2.2～2.5 | 12～13 |
| 半中苗 | 乾籾 100<br>催芽籾 130 | 24～30 | 25 | 3.1 | 13～15 |
| 中苗 | 乾籾 100<br>催芽籾 130 | 24～30 | 30 | 4.1 | 15～18 |

※ 箱数(最多) は、1株当たり植付本数が4本、栽植密度が坪当たり70株(㎡あたり21株)、安全率120%で計算
※ コシヒカリ以外の品種（とちぎの星、にじのきらめき、あさひの夢、月の光、夢あおば）は大粒なので、播種量をとちぎの星・にじのきらめきで1～2割、あさひの夢・月の光で1割、夢あおばで2割程度増やす。
※ 葉齢は、鞘葉と不完全葉を除く枚数

安定栽培のためのポイント

- **薄播き**　（1箱乾燥籾150g以下で、均一に播種）
- **小苗植え**（1株当たり平均3～5本で移植）
- 20～22株/㎡(**約70株/坪**)の栽植密度で移植

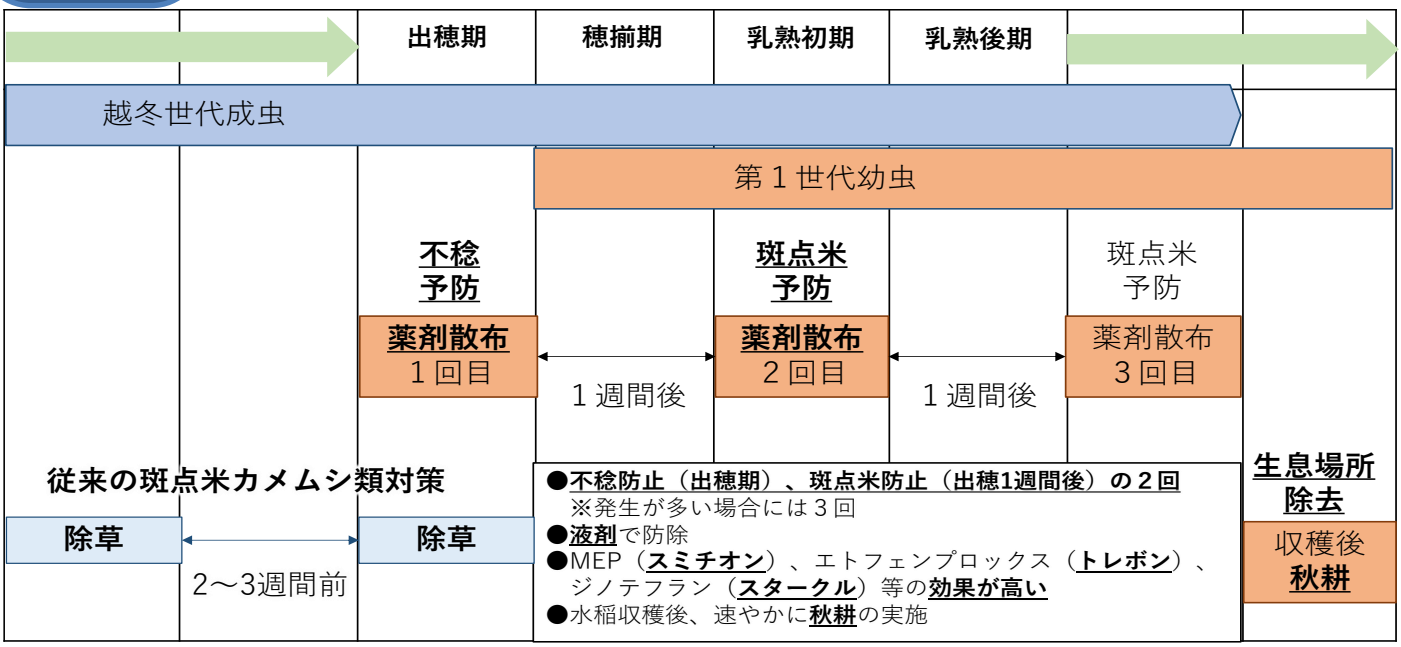
## イネカメムシの防除を徹底しましょう！

イネカメムシは、出穂期に加害すると稲が**不稔**になります。
また、乳熟期に加害すると基部斑点米で**品質が低下**します。

出穂期 ▶ 不稔で **収量低下**

乳熟期 ▶ 基部斑点米で **品質低下**

### 防除体系




◎詳しくは安足農業振興事務所 経営普及部（TEL 0283-23-1431）、ＪＡ足利営農指導員・営農相談係・TACにご相談下さい。